

兵庫連合 対 天理高校

■審判 球審:中山 塁審:渡辺 福田 佐古

本大会の準決勝第二試合は、天理高校(奈良)対兵庫連合(兵庫)という近畿勢同士の対決となった。初回、先攻の天理は、1死から2番長谷川が中前打で出塁すると、続く3番片山がショートへ内野安打で出塁。好機を作るが、後続が倒れ無得点。その裏、天理の先発陣は兵庫連合の1番美山、2番打を連続三振に仕留めるなど、上々の立ち上がりを見せる。2回表、天理は6番肥後が敬遠で出塁すると、7番中塚の右前打や相手バッテリーのエラーの間に一挙3得点。天理は3回以降も4番中林、6番肥後の三塁打や、3番片山の本塁打等で得点を重ね、5回までで13得点。追いついた兵庫連合は5回裏、投手が変わったところをつき、満塁の好機を作るも、後続が倒れ、無得点となった。大会特別規定により、5回コールドで天理高校が13-0で勝利した。